

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成22年7月2日

**【四半期会計期間】** 第37期第1四半期(自平成22年2月21日至平成22年5月20日)

**【会社名】** 株式会社さが美

**【英訳名】** SAGAMI Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 小野山 晴夫

**【本店の所在の場所】** 神奈川県横浜市港南区下永谷6丁目2番11号

**【電話番号】** 045(820)-6000(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理管理部長 宿野 大介

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県横浜市港南区下永谷6丁目2番11号

**【電話番号】** 045(820)-6000

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理管理部長 宿野 大介

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

| 回次                           | 第36期<br>第1四半期<br>連結累計(会計)期間 | 第37期<br>第1四半期<br>連結累計(会計)期間 | 第36期                       |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 会計期間                         | 自平成21年2月21日<br>至平成21年5月20日  | 自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日  | 自平成21年2月21日<br>至平成22年2月20日 |
| 売上高 (千円)                     | 7,690,929                   | 6,193,115                   | 34,304,175                 |
| 経常利益又は経常損失 (千円)              | 602,881                     | 572,720                     | 252,335                    |
| 四半期純損失( )又は当期純損失( ) (千円)     | 661,944                     | 616,951                     | 108,334                    |
| 純資産額 (千円)                    | 8,831,949                   | 8,759,726                   | 9,377,875                  |
| 総資産額 (千円)                    | 19,991,760                  | 17,066,729                  | 17,250,340                 |
| 1株当たり純資産額 (円)                | 221.98                      | 220.25                      | 235.78                     |
| 1株当たり四半期純損失( )又は当期純損失( ) (円) | 16.64                       | 15.51                       | 2.72                       |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)   |                             |                             |                            |
| 自己資本比率 (%)                   | 44.2                        | 51.3                        | 54.4                       |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)        | 36,798                      | 394,732                     | 759,237                    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)        | 34,085                      | 108,697                     | 215,510                    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)        | 791,207                     | 344,690                     | 2,101,206                  |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)    | 1,004,899                   | 657,413                     | 598,757                    |
| 従業員数 (名)                     | 792<br>(1,334)              | 718<br>(1,238)              | 735<br>(1,311)             |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

3 従業員欄の(外書)は、パートタイマーの年間平均雇用人員であります。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社における状況

平成22年5月20日現在

|         |             |
|---------|-------------|
| 従業員数(名) | 718 (1,238) |
|---------|-------------|

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。  
2 従業員欄の（外書）は、パートタイマーの当第1四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

### (2) 提出会社の状況

平成22年5月20日現在

|         |           |
|---------|-----------|
| 従業員数(名) | 500 (963) |
|---------|-----------|

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。  
2 従業員欄の（外書）は、パートタイマーの当第1四半期会計期間の平均雇用人員であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 販売実績

##### 商品別売上高

| 商品別    | 当第1四半期連結会計期間<br>(自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日) |            |                |
|--------|--|------------|----------------|
|        | 売上高<br>(千円)                                  | 構成比<br>(%) | 前年同四半期比<br>(%) |
| 着物・裏地等 | 1,905,660                                    | 30.8       | 93.1           |
| 帯      | 697,812                                      | 11.3       | 76.7           |
| 和装小物   | 637,813                                      | 10.3       | 90.1           |
| 仕立加工   | 669,798                                      | 10.8       | 75.8           |
| 宝石     | 774,104                                      | 12.5       | 77.9           |
| 婦人用品   |  |            |                |
| 雑貨     | 1,311,795                                    | 21.2       | 81.2           |
| その他    | 196,130                                      | 3.1        | 94.5           |
| 合計     | 6,193,115                                    | 100.0      | 80.5           |

(注) 前第1四半期連結会計期間まで商品売上高で区分掲記していた婦人用品(前第1四半期連結会計期間538,809千円)は、当第1四半期連結会計期間における同区分の売上がすべて帽子関連売上(当第1四半期連結会計期間152,028千円)となったため、売上区分を見直し、「雑貨」に含めて表示しております。これに伴い、前年同四半期比についても、当第1四半期連結会計期間の区分と合わせて算定しております。

##### 商品別仕入高

| 商品別    | 当第1四半期連結会計期間<br>(自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日) |            |                |
|--------|--|------------|----------------|
|        | 仕入高<br>(千円)                                  | 構成比<br>(%) | 前年同四半期比<br>(%) |
| 着物・裏地等 | 786,552                                      | 31.6       | 98.7           |
| 帯      | 267,926                                      | 10.8       | 85.7           |
| 和装小物   | 342,797                                      | 13.8       | 89.1           |
| 宝石     | 364,000                                      | 14.6       | 76.9           |
| 婦人用品   |  |            |                |
| 雑貨     | 634,612                                      | 25.4       | 79.4           |
| その他    | 93,854                                       | 3.8        | 93.2           |
| 合計     | 2,489,743                                    | 100.0      | 82.4           |

(注) 1 上記実績は反物等の仕入高であり、その仕立加工についての金額は、当第1四半期連結会計期間においては、409,380千円(前年同四半期比74.4%)であります。

2 当第1四半期連結会計期間より帽子関連仕入(75,589千円)については、商品別売上高の(注)に記載のとおり、「雑貨」に含めて表示しております。これに伴い、前年同四半期比についても、当第1四半期連結会計期間の区分と合わせて算定しております。

## 2 【事業等のリスク】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結会計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間の業績は、営業損益、経常損益および四半期純損益がすべてマイナスですが、これはきもの事業の特性上、第1四半期においては受注獲得に注力することから一時的に業績が悪化したことに起因するものであり、重要な環境変化は生じていないと判断しております。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

##### (1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の増加を起点とした景気の回復が続いております。しかし欧州不安や政策効果の減退という不安要因もあり、成長ペースは鈍化する可能性も出ております。

また個人消費の動向は低価格・節約志向が続いており、大手小売業の売上高は依然として前年を下回っております。きもの業界においても高額商品は苦戦しており、依然売上のダウントレンドは継続しております。

このような状況の中で、当社グループの中核である(株)さが美は、再建計画最終年度にあたる本年度を「成長へ向けた基盤づくりの年」と位置づけ、店頭力の強化、内部統制、コンプライアンスの遵守、ローコストへの継続的取り組みを重点課題として、それらの実現に取り組んでおります。また(株)匠美の清算、ロックマン事業の撤退という再建計画に掲げたりストラ策の完遂に向けて準備を進めております。

この間、きもの事業におきましては、前年に引き続き客数増を一番の営業課題としてきものお手入れアイテムの拡販、廉価のフォーマルきもの集中販売に努め、前年の客数を上廻ることができました。またホームファッション事業におきましては、マーチャンダイジング改革を進めており、売上高の低下に歯止めが掛かってきました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高61億93百万円（前年同四半期比14億97百万円の悪化）となり、利益面においては、営業損失5億78百万円（前年同四半期比38百万円の改善）、経常損失5億72百万円（前年同四半期比30百万円の改善）、四半期純損失6億16百万円（前年同四半期比44百万円の改善）となりました。

##### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、170億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億83百万円減少しました。これは主として、売掛金や差入保証金が減少したことなどによるものであります。

負債については、83億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億34百万円増加しました。これは主として、前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産については、87億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億18百万円減少しました。これは主として、四半期純損失を計上したことなどによるものであります。

##### (3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、6億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加しました。当第1四半期連結会計期間における活動ごとのキャッシュ・フロー状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失 5億78百万円により、前受金4億77百万円の増加はありましたが、3億94百万円の支出（前年同四半期は36百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に差入保証金1億39百万円の回収による収入の増加などにより、1億8百万円の収入（前年同四半期は34百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金5億円の増加により、3億44百万円の収入（前年同四半期は7億91百万円の支出）となりました。

##### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容および当該重要事象等を解消し、または改善するための対応策

当社グループがこのような状況になったのは、近年の継続的なきものマーケットの縮小という構造的な要因に加え、同業他社倒産を端緒とする過量販売の不信視とそれにとまなう信販会社の与信供与厳格化が主な原因であると考えております。当社グループはこのような状況を解消するため、親会社であるユニー株式会社の支援の下、平成21年2月期よりきもの事業を核とした事業の再構築および経営コストの構造改革等の策定・実行により経営再建に努めました。その結果、平成21年2月期および平成22年2月期におきましては構造改革の成果は着実にみられ、営業利益を計上することができました。

再建3年目にあたる当連結会計年度は「成長へ向けた基盤づくりの年」と位置づけ、「店頭力の強化」、「ローコストへの継続的取り組み」、「(株)匠美の清算、ロックマン事業からの撤退」を重点課題として取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間の業績は、営業損益、経常損益および四半期純損益がすべてマイナスですが、これはきもの事業の特性上、第1四半期においては受注獲得に注力することから一時的に業績が悪化したことに起因するものであり、重要な環境変化は生じていないと判断しております。

現段階では、親会社であるユニー株式会社の支援の下で構造改革を進めていることから継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しているものの、依然として当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しておりますが、これを解消するため、今後とも構造改革の重点課題を着実に実行し、再建を確かなものにしてまいります。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

重要な設備計画の完了

前連結会計年度末に計画していた設備計画のうち、当第1四半期連結会計期間に完了したものは、次のとおりであります。

| 会社名        | 設備名称   | 所在地       | 設備の内容         | 投資額        | 資金調達方法 | 着手および完了年月 |      |
|------------|--------|-----------|---------------|------------|--------|-----------|------|
|            |        |           |               | 総額<br>(千円) |        | 着手        | 完了   |
| 提出会社       | さが美勝田店 | 茨城県ひたちなか市 | 店舗の新設<br>(賃借) | 5,511      | 自己資金   | 22.2      | 22.2 |
|            | さが美那覇店 | 沖縄県那覇市    | 店舗の改修         | 4,182      | 自己資金   | 22.3      | 22.3 |
|            | 小計     |           |               | 9,693      |        |           |      |
| (株)東京ますいわ屋 | そごう徳島店 | 徳島県徳島市    | 店舗の改修         | 3,675      | 自己資金   | 22.2      | 22.3 |
|            | 小計     |           |               | 3,675      |        |           |      |
| 合計         |        |           |               | 13,368     |        |           |      |

(注) 上記投資額には差入保証金に対する支出額を含めております。

重要な設備の新設・除却等

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。



## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 117,907,000 |
| 計    | 117,907,000 |

##### 【発行済株式】

| 種類   | 第1四半期会計期間<br>末現在発行数(株)<br>(平成22年5月20日) | 提出日現在<br>発行数(株)<br>(平成22年7月2日) | 上場金融商品取引所<br>名又は登録認可金融<br>商品取引業協会名 | 内容              |
|------|--|--------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 40,834,607                             | 同左                             | 東京証券取引所<br>(市場第一部)                 | 単元株式数<br>1,000株 |
| 計    | 40,834,607                             | 同左                             |                                    |                 |

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                       | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金<br>増減額<br>(千円) | 資本準備金<br>残高<br>(千円) |
|---------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成22年2月21日～<br>平成22年5月20日 |                       | 40,834,607           |                | 9,217,235     |                      | 8,812,318           |

#### (6) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日である平成22年2月20日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成22年2月20日現在

| 区分             | 株式数(株)                        | 議決権の数(個) | 内容               |
|----------------|-------------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式         |                               |          |                  |
| 議決権制限株式(自己株式等) |                               |          |                  |
| 議決権制限株式(その他)   |                               |          |                  |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式)<br>普通株式<br>1,060,000 |          |                  |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式<br>39,142,000            | 39,142   |                  |
| 単元未満株式         | 普通株式<br>632,607               |          | 一単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数        | 40,834,607                    |          |                  |
| 総株主の議決権        |                               | 39,142   |                  |

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社の自己株式659株が含まれております。

【自己株式等】

平成22年2月20日現在

| 所有者の氏名<br>又は名称      | 所有者の住所              | 自己名義<br>所有株式数<br>(株) | 他人名義<br>所有株式数<br>(株) | 所有株式数<br>の合計<br>(株) | 発行済株式<br>総数に対する<br>所有株式数<br>の割合(%) |
|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式)<br>株式会社さが美 | 横浜市港南区下永谷<br>6-2-11 | 1,060,000            |                      | 1,060,000           | 2.6                                |
| 計                   |                     | 1,060,000            |                      | 1,060,000           | 2.6                                |

(注) 1 株主名簿上は当社名義であります。実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。

なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は、1,062,933株であります。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別    | 平成22年<br>3月 | 4月  | 5月  |
|-------|-------------|-----|-----|
| 最高(円) | 140         | 145 | 138 |
| 最低(円) | 127         | 131 | 114 |

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間(平成21年2月21日から平成21年5月20日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成22年2月21日から平成22年5月20日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年2月21日から平成22年5月20日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間(平成21年2月21日から平成21年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表については、あずさ監査法人により四半期レビューを受け、当第1四半期連結会計期間(平成22年2月21日から平成22年5月20日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年2月21日から平成22年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けているあずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもって有限責任あずさ監査法人となりました。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

|             | 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年5月20日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成22年2月20日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| <b>資産の部</b> |                               |  |
| 流動資産        |                               |  |
| 現金及び預金      | 657,413                       | 598,757                                  |
| 受取手形及び売掛金   | 1,445,324                     | 1,615,836                                |
| 商品          | 3,587,433                     | 3,498,849                                |
| 貯蔵品         | 8,291                         | 8,860                                    |
| その他         | 1,566,720                     | 1,584,482                                |
| 貸倒引当金       | 2,759                         | 4,729                                    |
| 流動資産合計      | 7,262,425                     | 7,302,056                                |
| 固定資産        |                               |  |
| 有形固定資産      |                               |  |
| 建物及び構築物(純額) | 538,319                       | 534,237                                  |
| 土地          | 3,203,547                     | 3,203,547                                |
| その他(純額)     | 70,187                        | 70,728                                   |
| 有形固定資産合計    | 3,812,054                     | 3,808,513                                |
| 無形固定資産      | 146,647                       | 147,499                                  |
| 投資その他の資産    |                               |  |
| 差入保証金       | 4,099,741                     | 4,248,840                                |
| その他         | 2,067,150                     | 2,073,329                                |
| 貸倒引当金       | 321,288                       | 329,898                                  |
| 投資その他の資産合計  | 5,845,603                     | 5,992,271                                |
| 固定資産合計      | 9,804,304                     | 9,948,283                                |
| 資産合計        | 17,066,729                    | 17,250,340                               |

(単位：千円)

|               | 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年5月20日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成22年2月20日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| <b>負債の部</b>   |                               |  |
| 流動負債          |                               |  |
| 支払手形及び買掛金     | 1,491,536                     | 1,625,044                                |
| 短期借入金         | 500,000                       | -  |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 360,000                       | 425,000                                  |
| 未払法人税等        | 55,887                        | 199,182                                  |
| 前受金           | 1,829,632                     | 1,352,552                                |
| 賞与引当金         | 71,040                        | 40,960                                   |
| 事業構造改善引当金     | 589,231                       | 642,462                                  |
| その他           | 1,386,593                     | 1,459,061                                |
| 流動負債合計        | 6,283,921                     | 5,744,263                                |
| 固定負債          |                               |  |
| 長期借入金         | 1,245,000                     | 1,335,000                                |
| 退職給付引当金       | 667,018                       | 677,672                                  |
| その他           | 111,063                       | 115,529                                  |
| 固定負債合計        | 2,023,082                     | 2,128,202                                |
| 負債合計          | 8,307,003                     | 7,872,465                                |
| 純資産の部         |                               |  |
| 株主資本          |                               |  |
| 資本金           | 9,217,235                     | 9,217,235                                |
| 資本剰余金         | 8,812,318                     | 8,812,318                                |
| 利益剰余金         | 8,169,939                     | 7,552,988                                |
| 自己株式          | 342,089                       | 341,780                                  |
| 株主資本合計        | 9,517,525                     | 10,134,785                               |
| 評価・換算差額等      |                               |  |
| その他有価証券評価差額金  | 10,987                        | 11,876                                   |
| 土地再評価差額金      | 768,786                       | 768,786                                  |
| 評価・換算差額等合計    | 757,798                       | 756,910                                  |
| 純資産合計         | 8,759,726                     | 9,377,875                                |
| 負債純資産合計       | 17,066,729                    | 17,250,340                               |

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                 | 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年2月21日<br>至平成21年5月20日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高             | 7,690,929                                    | 6,193,115                                    |
| 売上原価            | 3,533,592                                    | 2,758,322                                    |
| 売上総利益           | 4,157,337                                    | 3,434,792                                    |
| 営業収入            | 56,630                                       | 46,670                                       |
| 営業総利益           | 4,213,967                                    | 3,481,463                                    |
| 販売費及び一般管理費      |  |  |
| 給料及び手当          | 1,869,741                                    | 1,672,128                                    |
| 賞与引当金繰入額        | 62,260                                       | 30,080                                       |
| 退職給付費用          | 114,420                                      | 90,837                                       |
| 賃借料             | 1,112,972                                    | 955,802                                      |
| その他             | 1,671,547                                    | 1,310,699                                    |
| 販売費及び一般管理費合計    | 4,830,941                                    | 4,059,547                                    |
| 営業損失( )         | 616,973                                      | 578,084                                      |
| 営業外収益           |  |  |
| 受取利息            | 1,321  | 893  |
| 受取配当金           | 162  | -  |
| 株式割当益           | -  | 6,609  |
| 仕入割引            | 8,579  | 6,157  |
| 受取補償金           | 13,750                                       | -  |
| その他             | 6,710  | 2,963  |
| 営業外収益合計         | 30,523                                       | 16,623                                       |
| 営業外費用           |  |  |
| 支払利息            | 11,798                                       | 7,601  |
| 貸倒引当金繰入額        | 940  | -  |
| その他             | 3,692  | 3,657  |
| 営業外費用合計         | 16,430                                       | 11,259                                       |
| 経常損失( )         | 602,881                                      | 572,720                                      |
| 特別利益            |  |  |
| 固定資産売却益         | 1,433  | 738  |
| 貸倒引当金戻入額        | 4,057  | 6,114  |
| 特別利益合計          | 5,491  | 6,852  |
| 特別損失            |  |  |
| 固定資産除却損         | 1,923  | 12,292                                       |
| 減損損失            | 23,266                                       | -  |
| 特別損失合計          | 25,190                                       | 12,292                                       |
| 税金等調整前四半期純損失( ) | 622,580                                      | 578,160                                      |
| 法人税、住民税及び事業税    | 40,100                                       | 37,236                                       |
| 法人税等調整額         | 736  | 1,554  |
| 法人税等合計          | 39,363                                       | 38,790                                       |
| 四半期純損失( )       | 661,944                                      | 616,951                                      |

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

|                         | 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年2月21日<br>至平成21年5月20日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日) |
|-------------------------|--|--|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 税金等調整前四半期純損失( )         | 622,580                                      | 578,160                                      |
| 減価償却費                   | 38,523                                       | 34,459                                       |
| 減損損失                    | 23,266                                       | -  |
| 貸倒引当金の増減額( は減少)         | 7,211  | 10,580                                       |
| 賞与引当金の増減額( は減少)         | 25,590                                       | 30,080                                       |
| 固定資産売却損益( は益)           | 1,433  | 738  |
| 退職給付引当金の増減額( は減少)       | 11,342                                       | 10,654                                       |
| 事業構造改善引当金の増減額( は減少)     | 17,698                                       | 53,231                                       |
| 受取利息及び受取配当金             | 1,483  | 893  |
| 支払利息                    | 11,798                                       | 7,601  |
| 為替差損益( は益)              | 1,304  | 0  |
| 固定資産除却損                 | 1,923  | 12,292                                       |
| 売上債権の増減額( は増加)          | 708,382                                      | 170,511                                      |
| たな卸資産の増減額( は増加)         | 16,389                                       | 88,015                                       |
| 仕入債務の増減額( は減少)          | 33,331                                       | 133,508                                      |
| 前受金の増減額( は減少)           | 310,447                                      | 477,080                                      |
| その他                     | 168,113                                      | 87,865                                       |
| 小計                      | 210,547                                      | 231,621                                      |
| 利息及び配当金の受取額             | 1,708  | 1,508  |
| 利息の支払額                  | 10,967                                       | 13,441                                       |
| 法人税等の支払額                | 164,490                                      | 151,178                                      |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 36,798                                       | 394,732                                      |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 定期預金の払戻による収入            | 3,000  | -  |
| 有形固定資産の取得による支出          | 9,936  | 24,311                                       |
| 無形固定資産の取得による支出          | 1,532  | 3,900  |
| 有形固定資産の売却による収入          | 1,140  | 738  |
| 投資有価証券の取得による支出          | 298  | 298  |
| 差入保証金の差入による支出           | 4,091  | 535  |
| 差入保証金の回収による収入           | 77,665                                       | 139,972                                      |
| その他                     | 31,861                                       | 2,968  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | 34,085                                       | 108,697                                      |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 短期借入金の純増減額( は減少)        | 600,000                                      | 500,000                                      |
| 長期借入金の返済による支出           | 189,670                                      | 155,000                                      |
| 自己株式の取得による支出            | 1,537  | 309  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 791,207                                      | 344,690                                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | 1,304  | 0  |
| 現金及び現金同等物の増減額( は減少)     | 719,019                                      | 58,656                                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 1,723,918                                    | 598,757                                      |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高        | 1,004,899                                    | 657,413                                      |

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

| 当第1四半期連結会計期間<br>(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日) |   |
|--|---|
| 1 たな卸資産の評価方法                               | 当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。<br>また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。 |
| 2 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法             | 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。                         |

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

該当事項はありません。



【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年5月20日) | 前連結会計年度末<br>(平成22年2月20日)      |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 有形固定資産の減価償却累計額<br>5,345,694千円 | 有形固定資産の減価償却累計額<br>5,364,894千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年2月21日<br>至平成21年5月20日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日) |
|--|--|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 |
| 現金及び預金<br>1,004,899千円                        | 現金及び預金<br>657,413千円                          |
| 現金及び現金同等物<br>1,004,899千円                     | 現金及び現金同等物<br>657,413千円                       |

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日至平成22年5月20日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類   | 当第1四半期<br>連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 40,834,607        |

2 自己株式に関する事項

| 株式の種類   | 当第1四半期<br>連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 1,062,933         |

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

4 株主資本の著しい変動に関する事項

当第1四半期連結会計期間において株主資本の著しい変動はありません。

(セグメント情報)

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

全セグメントの売上高の合計および営業利益に占める小売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

**【所在地別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第1四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループが行っているデリバティブ取引は、すべてヘッジ会計が適用されており、当四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

| 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年5月20日) | 前連結会計年度末<br>(平成22年2月20日) |
|-------------------------------|--------------------------|
| 220.25円                       | 235.78円                  |

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

| 項目   | 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年5月20日) | 前連結会計年度末<br>(平成22年2月20日) |
|--|-------------------------------|--------------------------|
| 連結貸借対照表の純資産の部の合計<br>(千円)   | 8,759,726                     | 9,377,875                |
| 普通株式に係る純資産額(千円)  | 8,759,726                     | 9,377,875                |
| 連結貸借対照表の純資産額の部の<br>合計額と1株当たり純資産額の算<br>定に用いられた普通株式に係る連<br>結会計年度末の純資産の額との差<br>額の主な内訳 |                               |                          |
| 普通株式の発行済株式数(千株)  | 40,834                        | 40,834                   |
| 普通株式の自己株式数(千株)   | 1,062                         | 1,060                    |
| 1株当たり純資産額の算定に用い<br>られた普通株式の数(千株)   | 39,771                        | 39,773                   |

2 1株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

| 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年2月21日<br>至平成21年5月20日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日) |
|--|--|
| 1株当たり四半期純損失( ) 16.64円                        | 1株当たり四半期純損失( ) 15.51円                        |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益                           | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益                           |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

| 項目                        | 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年2月21日<br>至平成21年5月20日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年2月21日<br>至平成22年5月20日) |
|---------------------------|--|--|
| 四半期連結損益計算書上の四半期純損失( )(千円) | 661,944                                      | 616,951                                      |
| 普通株式に係る四半期純損失( )(千円)      | 661,944                                      | 616,951                                      |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)          |  |  |
| 普通株式の期中平均株式数(千株)          | 39,791                                       | 39,772                                       |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

リース取引開始日が平成21年2月20日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しておりますが、当四半期連結会計期間末におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年7月3日

株式会社さが美  
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員 公認会計士 永田 昭夫  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 新家 徳子  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社さが美の平成21年2月21日から平成22年2月20日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成21年2月21日から平成21年5月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社さが美及び連結子会社の平成21年5月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

継続企業的前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に記載されているとおり、会社は過去2連結会計年度において継続して営業損失及び経常損失を計上するとともに重要な当期純損失を計上していた。前連結会計年度以降、構造改革は着実に実行しているが、きもの事業を取巻く環境は引き続き厳しい状況にあり、現段階では収益構造の大幅な改善には至っておらず、依然として継続企業的前提に関する重要な疑義が存在している。当該状況に関する経営計画等は当該注記に記載されている。四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映していない。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年7月2日

株式会社さが美  
取締役会 御中

有限責任あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 永田 昭夫

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新家 徳子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社さが美の平成22年2月21日から平成23年2月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年2月21日から平成22年5月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年5月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社さが美及び連結子会社の平成22年5月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。